

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ADEKA

コード番号 4401 URL <http://www.adeka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 櫻井 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 法務・広報部長

(氏名) 安田 晋

TEL 03-4455-2803

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	85,485	△0.7	4,337	△41.1	4,020	△42.8	1,972	△47.1
23年3月期第2四半期	86,079	12.0	7,359	76.4	7,027	86.6	3,727	82.4

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,034百万円 (△27.0%) 23年3月期第2四半期 2,787百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	19.10	—
23年3月期第2四半期	36.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本	%
24年3月期第2四半期	209,275		127,622		124,296	59.4
23年3月期	207,779		126,784		123,555	59.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 124,296百万円 23年3月期 123,555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
24年3月期	—	11.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	1.0	11,200	△23.2	11,100	△22.8	6,300	△9.0	60.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	103,651,442 株	23年3月期	103,651,442 株
24年3月期2Q	362,711 株	23年3月期	362,599 株
24年3月期2Q	103,288,796 株	23年3月期2Q	103,290,009 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から同年9月30日）における世界経済は、欧州財政問題の深刻化、米国景気回復ペースの鈍化など、先行きの不透明感が強まりました。国内は、東日本大震災の影響による景気の落ち込みから回復は見られるものの、電力供給の制限や原油・資源価格の高騰、さらには急激な円高など、依然として厳しい状況でした。

当社グループ事業の主要対象分野におきましては、自動車関連分野では生産の遅れを取り戻しつつありましたが、震災による落ち込みを補うには至りませんでした。IT・デジタル家電関連分野では消費不振から液晶パネル各社が大幅な減産を実施しました。国内の加工油脂分野におきましては、前年同期並みの生産量となりましたが、原材料価格高騰の影響などにより厳しい事業環境でした。

当社グループにおきましては、成長戦略で掲げている「新製品の創出」と「海外事業の拡大」を強力に推し進め、持続的成長に向けた布石を着実に打ち、経営基盤の強化により一層の努力を重ねてまいりました。

震災被害にあった4工場は、6月末までに総力を挙げて順次復旧させ、安定供給できる生産体制を整えました。しかしながら、震災による操業停止の影響は大きく、厳しい業績となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は854億85百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は43億37百万円（同41.1%減）、経常利益は40億20百万円（同42.8%減）、四半期純利益は19億72百万円（同47.1%減）となりました。

報告セグメントの概況は、次のとおりです。

(化学品事業)

当事業の売上高は、603億99百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は45億6百万円（同26.2%減）となりました。

①情報・電子化学品

半導体材料は、スマートフォンやタブレット端末の市場拡大に伴い、省電力設計の最先端半導体メモリで使用される高誘電材料が海外を中心に伸長しました。液晶パネル関連では、在庫調整による大幅な減産の影響を受け、超微細回路形成用エッチング薬液や高純度ガスなどは販売数量が減少しましたが、光硬化樹脂は用途拡大により国内外で好調でした。情報・電子化学品全体では前年同期に比べ増収ではありましたが、わずかながら減益となりました。

②機能化学品

樹脂添加剤は、光安定剤や難燃剤などが低調でしたが、海外向けの販売が総じて堅調に推移し、加えて塩化ビニル用可塑剤や安定剤などが持ち直してきたことにより全体では前年同期を上回りました。界面活性剤は、塗料や衣料用洗剤、化粧品向けなどが堅調でした。潤滑剤は、津波被害による生産停止の影響をBCMS（事業継続マネジメントシステム）の取り組みにより最小限に抑え、期後半に販売数量の挽回を図りましたが前年同期を下回りました。環境対応の水系樹脂は、期後半にかけて顧客の生産調整などを受け前年同期並みとなりました。機能化学品全体では前年同期に比べ増収ではありましたが、原材料価格高騰の影響などもあり減益となりました。

③基礎化学品

プロピレングリコール類はトイレタリー向けなどに伸長しましたが、過酸化水素およびその誘導品は、震災時の計画停電により生産および供給を一時的に停止したために販売数量が大幅に減少しました。また、原材料価格高騰の影響もあり、基礎化学品全体では前年同期に比べ収減となり減益となりました。

(食品事業)

当事業の売上高は、227億75百万円（前年同期比7.4%減）、営業利益は4億82百万円の損失（同15億57百万円減）となりました。

当事業の主力工場が被災したことにより販売数量が大きく落ち込みました。工場復旧により生産を回復させ販売拡大に努めてまいりましたが、前年同期の水準には至りませんでした。利益面では販売減少に加え、原材料価格高騰の影響が大きく、採算が悪化しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報**資産、負債および純資産の状況**

総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ14億95百万円増加（前期比0.7%増）し、2,092億75百万円となりました。売上債権および投資有価証券の減少を上回るたな卸資産の増加が主な要因であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ6億57百万円増加（同0.8%増）し、816億53百万円となりました。短期借入金の増加が主な要因であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ8億37百万円増加（同0.7%増）し、1,276億22百万円となりました。利益剰余金の増加が主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年6月17日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,163	23,684
受取手形及び売掛金	38,581	37,594
有価証券	9,627	9,632
商品及び製品	12,169	15,514
仕掛品	3,261	4,019
原材料及び貯蔵品	13,026	13,681
その他	5,234	5,880
貸倒引当金	△217	△197
流動資産合計	106,847	109,809
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	21,244	20,595
土地	20,562	20,583
その他(純額)	26,241	26,508
有形固定資産合計	68,049	67,687
無形固定資産	3,533	3,369
投資その他の資産		
投資有価証券	23,102	22,367
その他	6,246	6,041
投資その他の資産合計	29,349	28,408
固定資産合計	100,932	99,465
資産合計	207,779	209,275

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,334	32,249
短期借入金	11,472	14,035
未払法人税等	2,418	921
賞与引当金	2,009	1,963
その他の引当金	1,537	535
その他	5,103	9,463
流動負債合計	53,876	59,169
固定負債		
長期借入金	10,529	5,467
退職給付引当金	8,526	8,673
その他の引当金	168	99
その他	7,894	8,243
固定負債合計	27,118	22,483
負債合計	80,995	81,653
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,899	22,899
資本剰余金	19,925	19,925
利益剰余金	78,647	79,482
自己株式	△224	△224
株主資本合計	121,248	122,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,001	609
土地再評価差額金	3,270	3,270
為替換算調整勘定	△1,964	△1,666
その他の包括利益累計額合計	2,307	2,213
少数株主持分	3,228	3,325
純資産合計	126,784	127,622
負債純資産合計	207,779	209,275

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	86,079	85,485
売上原価	65,028	67,552
売上総利益	21,051	17,933
販売費及び一般管理費	13,691	13,595
営業利益	7,359	4,337
営業外収益		
受取利息	46	51
受取配当金	146	158
持分法による投資利益	76	—
その他	126	215
営業外収益合計	395	426
営業外費用		
支払利息	192	187
為替差損	296	164
持分法による投資損失	—	124
その他	238	266
営業外費用合計	727	743
経常利益	7,027	4,020
特別損失		
有形固定資産除却損	120	241
投資有価証券評価損	547	385
災害による損失	—	327
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	101	—
特別損失合計	769	953
税金等調整前四半期純利益	6,258	3,066
法人税、住民税及び事業税	2,338	809
法人税等調整額	62	141
法人税等合計	2,401	950
少数株主損益調整前四半期純利益	3,857	2,115
少数株主利益	130	142
四半期純利益	3,727	1,972

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,857	2,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△530	△363
為替換算調整勘定	△518	309
持分法適用会社に対する持分相当額	△20	△28
その他の包括利益合計	△1,069	△81
四半期包括利益	2,787	2,034
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,741	1,879
少数株主に係る四半期包括利益	46	155

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,258	3,066
減価償却費	3,945	3,983
投資有価証券評価損益(△は益)	547	385
有形固定資産除却損	120	241
受取利息及び受取配当金	△192	△210
支払利息	192	187
持分法による投資損益(△は益)	△76	124
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△981
売上債権の増減額(△は増加)	△2,815	1,218
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,987	△4,571
仕入債務の増減額(△は減少)	2,993	696
その他	△942	△898
小計	8,043	3,242
利息及び配当金の受取額	390	289
利息の支払額	△193	△192
保険金の受取額	—	73
法人税等の支払額	△2,194	△2,304
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,045	1,108
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	350	2,492
有価証券の売却及び償還による収入	8,021	10,000
有価証券の取得による支出	△8,994	△10,000
有形固定資産の取得による支出	△2,593	△2,791
無形固定資産の取得による支出	△353	△265
関係会社株式の取得による支出	△0	△363
その他	△2,470	△174
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,040	△1,103
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	975	2,479
長期借入金の返済による支出	△372	△347
配当金の支払額	△1,139	△1,137
その他	△141	18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△678	1,012
現金及び現金同等物に係る換算差額	△291	△29
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△964	988
現金及び現金同等物の期首残高	23,507	23,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,542	24,544

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化 学 品	食 品	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	59,673	24,605	84,279	1,799	86,079	—	86,079
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	110	29	139	5,296	5,436	(5,436)	—
計	59,783	24,635	84,419	7,096	91,515	(5,436)	86,079
セグメント利益	6,105	1,074	7,180	143	7,323	35	7,359

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事および工事管理、物流業、不動産業等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額35百万円は、セグメント間取引消去額を含んでいます。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化 学 品	食 品	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	60,399	22,775	83,174	2,311	85,485	—	85,485
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	126	24	151	5,047	5,198	(5,198)	—
計	60,525	22,800	83,325	7,358	90,684	(5,198)	85,485
セグメント利益 (損失)	4,506	(482)	4,023	283	4,306	30	4,337

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事および工事管理、物流業、不動産業等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額30百万円は、セグメント間取引消去額を含んでいます。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。